



もしものときに<sup>そな</sup>え、<sup>か ぞく</sup>家族で<sup>はな</sup>話し合<sup>あ</sup>おう！

主催／ふくいの水防災を考える会

(福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会

特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 損保協会北陸支部福井損保会 協力／ミドリ防災

本コンテスト等は、国土交通省の「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、九頭竜川・北川大規模氾濫防災協議会において取り組む施策としています。



JA共済も地域貢献活動の一環として、「わが家のぼうさいコンテスト」を応援しています。

# も く じ

## 2 入賞者一覧

## 3 審査委員名列

### 審査講評

福井工業大学  
工学部建築土木工学科教授 竹田 周平氏

## 5 最優秀賞 作品紹介

福井市清水西小学校6年 田中 乃愛さん

## 7 優秀賞 作品紹介

永平寺町志比小学校3年 山岸 祐介さん

## 8 優秀賞 作品紹介

越前市吉野小学校6年 一 弘晃さん

## 9 JA 共済連福井本部長賞 作品紹介

福井市木田小学校5年 亀井 義仁さん

## 10 NHK福井放送局長賞 作品紹介

福井大学教育学部附属義務教育学校5年(福井市) 中山 帆菜さん

## 11 福井新聞社長賞 作品紹介

福井市羽生小学校3年 土田 真源さん

## 12 入選作品の紹介

## 18 奨励賞作品の紹介

# 2024 家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧



最優秀賞

福井市清水西小学校6年  
田中 乃愛さん



優秀賞

永平寺町志比小学校3年  
山岸 祐介さん

越前市吉野小学校6年  
一 弘晃さん



JA共済連福井  
本部長賞

福井市木田小学校5年  
亀井 義仁さん



NHK  
福井放送局長賞

福井大学教育学部  
附属義務教育学校5年  
(福井市)  
中山 帆菜さん



福井新聞社長賞

福井市羽生小学校3年  
土田 真源さん



入選

福井市順化小学校3年  
藤本 ちなみさん

福井市社南小学校6年  
山田 花凜さん

福井市社南小学校6年  
石田 夕珠さん

福井市社南小学校6年  
澤崎 凜音さん

福井市社南小学校6年  
前田 一帆さん

坂井市平章小学校6年  
宮永 理乃さん

坂井市平章小学校5年  
浦出 かけるさん

坂井市平章小学校4年  
足立 梓帆さん

鯖江市立待小学校6年  
室田 あいさん

越前市吉野小学校5年  
間 美貴さん

敦賀市栗野小学校6年  
山内 詩乃さん

敦賀市中央小学校3年  
上野 乃花さん



奨励賞

福井市東安居小学校3年  
村田 暁さん

福井市西藤島小学校3年  
伊藤 翔さん

福井市社南小学校6年  
小林 蒼空さん

福井市社南小学校6年  
前田 環奈さん

福井市社南小学校6年  
山勢 優奈さん

福井市社南小学校6年  
村田 龍斗さん

福井市社南小学校6年  
茶山 陽奏さん

福井市社南小学校6年  
高村 咲彩さん

福井市社南小学校6年  
不破 久礼愛さん

福井市羽生小学校4年  
宮越 大周さん

福井市羽生小学校3年  
杉本 耀亮さん

福井市清水西小学校6年  
田中 咲羽さん

勝山市荒土小学校6年  
森石 夏都さん

坂井市三国北小学校6年  
星野 七海さん

坂井市三国西小学校4年  
今田 百海さん

坂井市平章小学校6年  
東平 愛梨さん

坂井市平章小学校5年  
江澤 隆翔さん

坂井市平章小学校4年  
山田 結梨奈さん

鯖江市立待小学校5年  
井美 岳大さん

鯖江市立待小学校6年  
武藤 ひなこさん

鯖江市立待小学校6年  
高島 杏奈さん

鯖江市北中山小学校6年  
川端 千陽さん

越前市武生西小学校5年  
柳生 向日葵さん

南越前町南条小学校5年  
小谷 和奏さん

小浜市口名田小学校4年  
森下 苺愛さん

## 審査委員名列

|       |         |                        |
|-------|---------|------------------------|
| 審査委員長 | 竹田 周平氏  | 福井工業大学工学部建築土木工学科教授     |
| 審査委員  | 野村 文彦氏  | 国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所長 |
|       | 木下 信好氏  | 気象庁福井地方気象台長            |
|       | 三田村 佳紀氏 | 福井県土木部副部長              |
|       | 中西 典健氏  | 南越前町総務課防災安全室長          |
|       | 近藤 博英氏  | NHK福井放送局長              |
|       | 岡本 寛紀氏  | JA共済連福井本部長             |
|       | 山本 道隆氏  | 福井新聞社常務取締役営業統括本部長      |



## 審査講評

〈審査委員長〉 竹田 周平氏



「わが家のぼうさいコンテスト」は、20年前に発生した福井豪雨の記憶と教訓を伝え、児童とその家族の視点で、防災の大切さを啓発することを

目的とし、今回で11回目の開催となりました。また、「わが町の防災コンテスト」は、地域・地区の防災や減災に関する活動の事例を共有することで、更なる地域防災力の向上を図ることを目的に開催され、今回で5回目となりました。

今年度の応募について、わが家では320点（応募学校数は23校）の応募があり、昨年度と比較して165点と大幅に増加しました。これは、福井豪雨から20年目の節目であることに加え、令和6年能登半島地震による災害が身近で発生したことも影響していると思います。また、わが町は12団体の応募があり、昨年度と比較すると2団体が少なくなりましたが、ほぼ同数の応募がありました。

審査について、わが家では、ご家族で話し合って災害の事前や発災時に何をすべきか、地域の避難場所や危険箇所を調査、また実際に取り組んで分かったことなどが表現されているのかを中心に審査を行いました。わが町では、地域で取り組んでいる防災活動で、いかに地域の特性を踏まえて工夫し取り組みを行った活動であるのか、更には防災活動では大切な継続性に着目して審査を行いました。

今年度の講評としては、家族が災害時にとるべき行動を事前に決めるタイムラインをはじめ、備えとして効果的な

ローリングストックの具体的な方法など、実効性が期待される取り組みが多く確認されました。中には、福井豪雨を体験していない児童が、このコンテストの取り組みを通じて「災害伝承の大切さ」を学んだ作品が含まれていました。災害伝承は災害を経験した地域から伝えることが重要ですが、世代が変わっても福井豪雨をはじめとする災害を風化させないこと、つまり、このコンテストの重要性を改めて認識しました。また、わが町では、重要な課題でもある要配慮者を対象とした防災活動や自主防災活動との協働などが評価された地域の活動など、地域の特性を踏まえた防災活動が毎年積み上げられ、防災・減災力が高まっていることが認められました。

わが家・わが町の防災活動は、それぞれの計画を立案して完成されるものではなく、日々の訓練、新しい情報や知見・活動に基づき定期的に改善することが大切です。今回の応募作品集は素晴らしいアイデアや有益な実例が含まれております。この成果を参考に、応募されたご家族や地域の団体のみならず、今回応募に至っていない方々にも有益な情報になるものと自負しております。そして、福井の防災・減災力の発展、更なる広がりを大いに期待しております。

むすびに、コンテストに応募された皆さま、コンテストを開催し運営を頂きました、ふくいの水防災を考える会の関係各位に敬意を表し、このコンテストの益々の発展を心から祈念いたします。

2024 家族でかくにん！

# わが家のぼうさいコンテスト

## 入賞作品集



表彰式で竹田審査委員長（左）から賞状を受け取る、最優秀賞の田中乃愛さん  
＝2024年10月26日、福井新聞社・風の森ホール



引き締まった表情で表彰式に臨む児童たち



入選に輝いた児童たち



奨励賞を受賞した児童たち



入賞の力作を並べた作品展



福井市清水西小学校6年  
田中 乃愛さん

受賞者コメント

今年は福井豪雨から20年。企画展の写真展示を見たり、家族や母の友人から話を聞いて「わがやのBOUSAI」を完成させました。

毎年、防災について調べたり、学んだりして防災意識を高めてきましたが、福井豪雨の写真を見て、こわさを感じました。災害はやはりこわいです。自分が住む地域のハザードマップを知る、日常から備えることが大切だと思いました。

情報も自分から取りに行くことが重要です。自然の変化に目がいくようにもなりました。大雨や大雪、地震です。最近は記録的短時間大雨情報をよく耳にします。1時間に100ミリ前後の雨が発表される時は、川のはんらんや道路の冠水が予想されます。いつも以上に危険を感じなければなりません。私たちは、あの災害の経験から学んだ教訓を忘れず、防災意識をこれからもアップデートしていきましょう。

講評 〈審査委員長〉 福井工業大学工学部建築土木工学科教授 竹田 周平氏

この作品は、福井豪雨を経験していない児童がこの災害を後世へ伝承・バトンタッチすることの重要性を伝えています。マイボトルの具体案や非常食の効果的な備え、自宅付近のハザードを想定した避難行動など、多くの方々が参考となるアイデアが多く含まれていること、そして丁寧に美しい作品であることが高く評価されました。

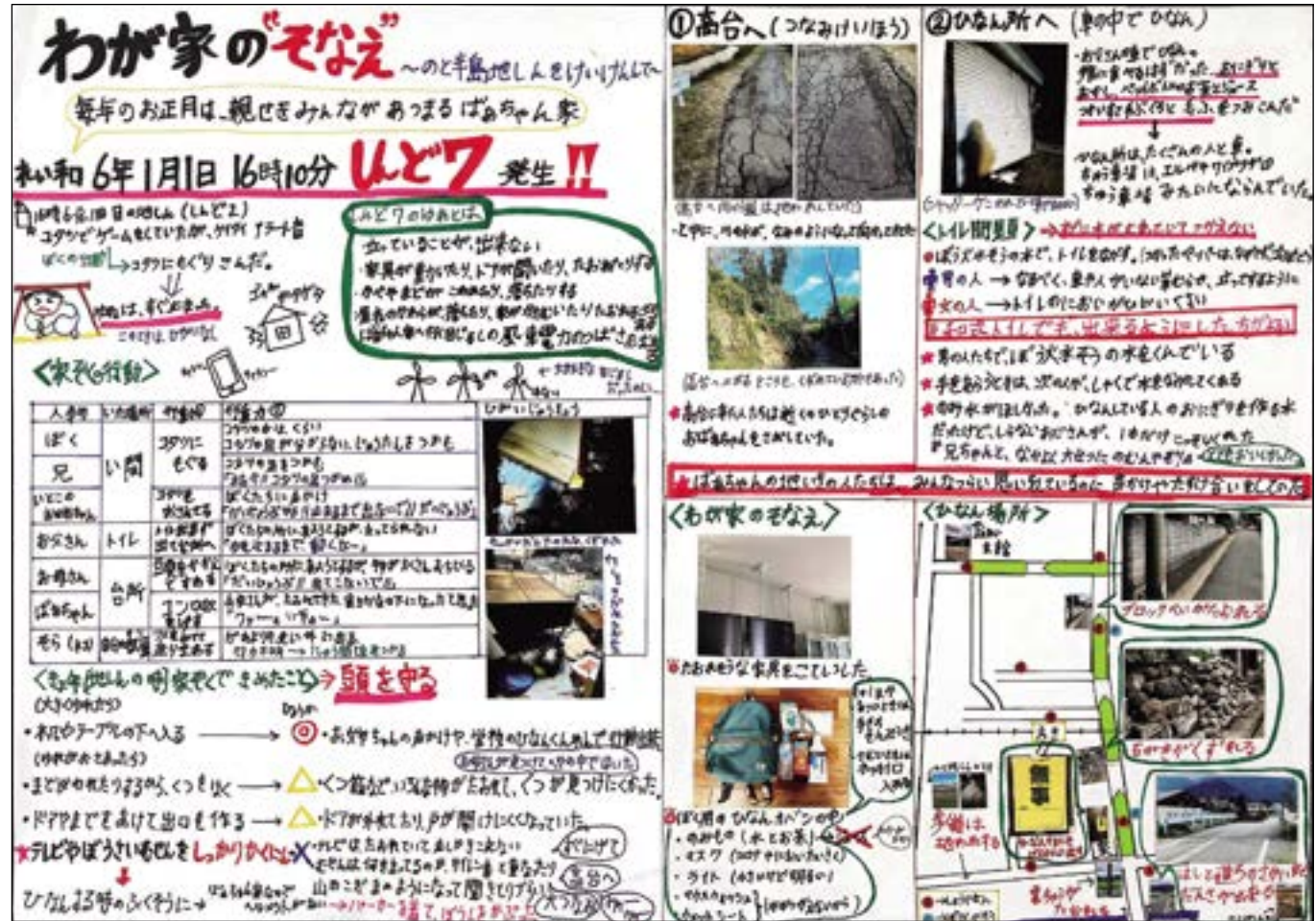




永平寺町志比小学校3年  
山岸 祐介さん

講評〈審査委員長〉

能登半島地震を実際に経験、その時の避難行動を振り返ることで、わが家の防災対策を行った点が評価されました。発災時の臨場感ある家族の行動と、家族で話し合って決めたルールに強い説得力を感じました。また、避難場所や避難行動の調査では危険箇所が上手に整理されています。高学年に匹敵する素晴らしい作品に今後が期待されます。



受賞者コメント



コンテストに取り組もうと思ったのは、今年のお正月に発生した「のど半島地しん」で、しん度7を体けんしたからです。「もしも、地しんが来たら」ではなく、本当に地しんが来たら、命を守る行動が何よりも大切だと、たくさんの人に知ってほしいと思い書きました。

きょ年、兄がぼうさいマップを作った時に、地しんが起こった場合にする行動を決めていたけど、本当に起こると、行動にうつすのはむずかしいことが分かりました。

だからもう1回、家ぞくで話をして、たななどにはつかえぼうをして、ひなん所へ持っていく物は、さい小げんにし、持ちやすいようにして、わが家のそなえを決めました。

いつ、どこで、さいがいが起こるか分かりませんが、今回の地しんで、さいがいはとてもこわいこと、そなえること、命を守ることの大切さを知ることができました。



越前市吉野小学校6年  
一 弘晃さん

講評〈審査委員長〉

総合的にバランスがとれ、また質の高い情報が整理されています。地区のハザード、災害情報の具体的な入手方法、避難行動マップ、発災時に確認すべき具体的なこと、日常の備えに加え、近年注目されている線状降水帯のメカニズムを学び上手に整理しています。これからわが家の防災計画を行う方々へ、有益な作品になると思います。



受賞者コメント



今年の1月1日に、おとなりの石川県の能登地方で、マグニチュード7・4の大きな地震があったり、9月21日から23日にかけて同じ能登で大雨になったり、自然災害がすごく増えてきて、また規模も大きくなっていると思います。

ぼくは、ふだんから、お母さんの実家で、弟たちとお母さんの仕事が終わるまですごしています。けれど、警戒レベルのことなど、あまり理解できていない部分があり、夏休みを活用して調べたりして、ぼうさいを学ばきかけとなりました。

けれど、まだまだ分からない事も多いので、祖父母に教えてもらいながら、もっと水害だけではなく、ほかの災害について調べていきたいと思っています。



福井市木田小学校5年  
亀井 義仁さん

講評〈審査委員〉

家に置いてある備えの確認や、防災センターの見学、非常食の試食、防災グッズ作りなど、防災体験の様子を実体験の写真と合わせて、分かりやすく丁寧にまとめられています。積極的に行動して調べている様子からは、防災意識の高さが伝わります。このマップを通して、災害が起きる前の備えから、災害が起きてしまった時の行動まで確認できるところが良かったと思います。



受賞者コメント



ぼくは学校で、ひなん訓練の時に福井ごう雨の特別新聞をもらいました。木田小学校近くには、ひ害にあった家がたくさんあったそうです。もし大雨がふったら、ぼくの家は安全か気になって、防災マップを作りました。

はじめに、福井市のハザードマップで家の周りを調べました。次に家の備えをチェックしました。家にいないときに災害が起こるかもしれないので、すぐ使う物で、ミニ防災セットを作りました。今は出かける時にいつも持っていくようにしています。

それから、弟と防災のイベントに参加しました。県庁の見学では、本当に救助している時のビデオを見たり、初めて知ることがたくさんありました。トイレ作りも思ったより、かん単で楽しかったです。

ぼくの防災マップは家族の協力のおかげで完成しました。これからも亀井家、みんなで災害に備えていきたいです。



福井大学教育学部  
附属義務教育学校5年（福井市）  
中山 帆菜さん

講評〈審査委員〉

防災を考えるきっかけになったのは、正月に起きた能登半島地震。自宅周辺を丁寧に調べ、建物が倒壊して道をふさぐ危険性や、避難所の備蓄品が少ないことなどの課題を、分かりやすく地図上に示しました。課題を受けてわが家のルールを定め、防災訓練では消火器の使い方や心臓マッサージの難しさを実感しました。地域防災のヒントになる、子ども目線の課題や経験を的確に表現しています。



受賞者コメント



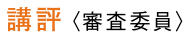
今年のお正月、生まれて初めて、近所の神社に私一人で行き、まさに鳥居をくぐろうとしたとき、能登半島地震が起きました。一人だったのでとても怖く、あわてて家に帰りました。このことをきっかけに、地震のニュースに目が留まるようになり、いざ地震という時にどう行動したらよいか、とても興味を持つようになりました。

私は、たくさんの訓練に参加し、その実体験をみんなに伝えようと決めました。今まで父に任せていた地域の防災訓練に参加して、起震車やAED体験をしたり、イベントの消火器体験をしたりしました。大人と一緒に訓練することは難しいことも多かったですが、探してみると様々な防災訓練が行われていることに気が付き、体験をしておくことはとても大切だとわかりました。

また、地域の危険個所を家族と一緒に探すことで、私一人でも避難所へ行ける自信が付きました。これからも我が家みんなで訓練に参加し、家族だけでなく友達や近所の人を誘っていきたいと思います。



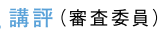
福井市羽生小学校3年  
土田 真源さん



家族で考えた五つの合言葉に感心しました。「避難して後悔することはない」と確認し合い、大切な命を守るため、警戒レベル3で避難すると決めています。避難所の学校までは6分。実際に歩いて危険箇所などをチェックし、必要な備えを含め避難時のポイントを的確にまとめています。不安な表情と安心の笑顔の写真をはじめ、心温まる虹やハートの絵が作品の魅力を引き立てています。



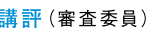
福井市順化小学校3年  
藤本 ちなみさん



色々な災害内容を確認し、近所の特徴や普段の行動や準備、わが家のタイムラインなどがしっかり記述・整理されており、災害時に使える各家庭にあるものを使って便利グッズ工作による、手作りヘルメットなど工夫された作品でした。



福井市社南小学校6年  
山田 花凜さん



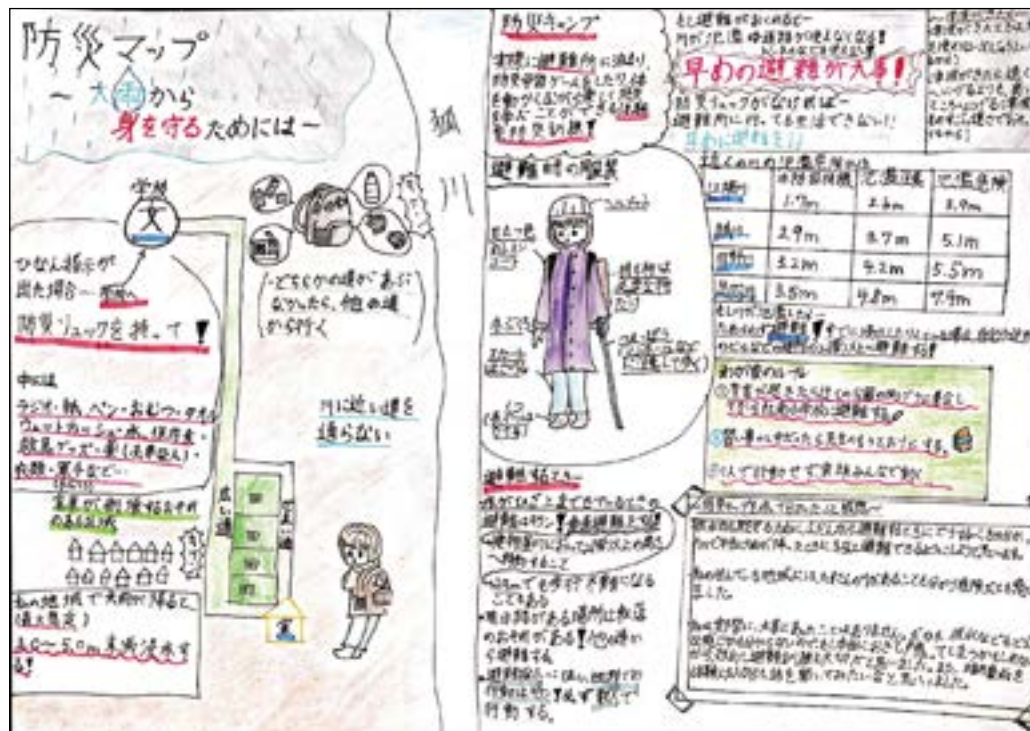
自宅近くの狐川の危険情報や避難する時の防災リリックの中身の確認、避難時の服装、避難行動の注意点などがしっかりと整理されており、災害が起きた時のわが家のルールも家族と話し合った事が記述され、いざと言う時に役立つ作品でした。



ぼうさいマップでくふうしたことは、二つあります。一つ目は、見る人が分かりやすいようにしたところです。文章をテーマごとに四角でかこんで、文章に合う色を付けました。それと、文章に合う写真を色々な形に切って、はり付けました。二つ目は、見る人が楽しめるようにしたことです。左がわに大雨の絵をかき、右がわに虹とハートの絵をかきました。家ぞく7人のハートも虹の色でぬりました。

くろうしたところは、えんぴつで下書きをして、マジックでなぞったことです。毎日、少しずつかいた  
ので、かんせいまで2週間かかりましたが、ぼうさいマップを作ったことは、夏休みの一番の思い出  
になりました。

ハザードマップを見ると、ぼくの家は大雨でしん水するかもしれないところにあります。大雨の時は、家ぞくで決めた「ぼくの家の方の五つのあいことば」を思い出して、一番だいじな命をまもりたいです。





福井市社南小学校6年  
石田 夕珠さん

講評 (審査委員)

自宅近くの江端川や山の土砂崩れなど地域の危険箇所を考えた防災マップとなっていました。また、災害に備えるため、防災グッズの確認や避難する時のポイント、家族で決めた事もしっかり整理され、いざと言う時に役立つ作品でした。



福井市社南小学校6年  
前田 一帆さん

講評 (審査委員)

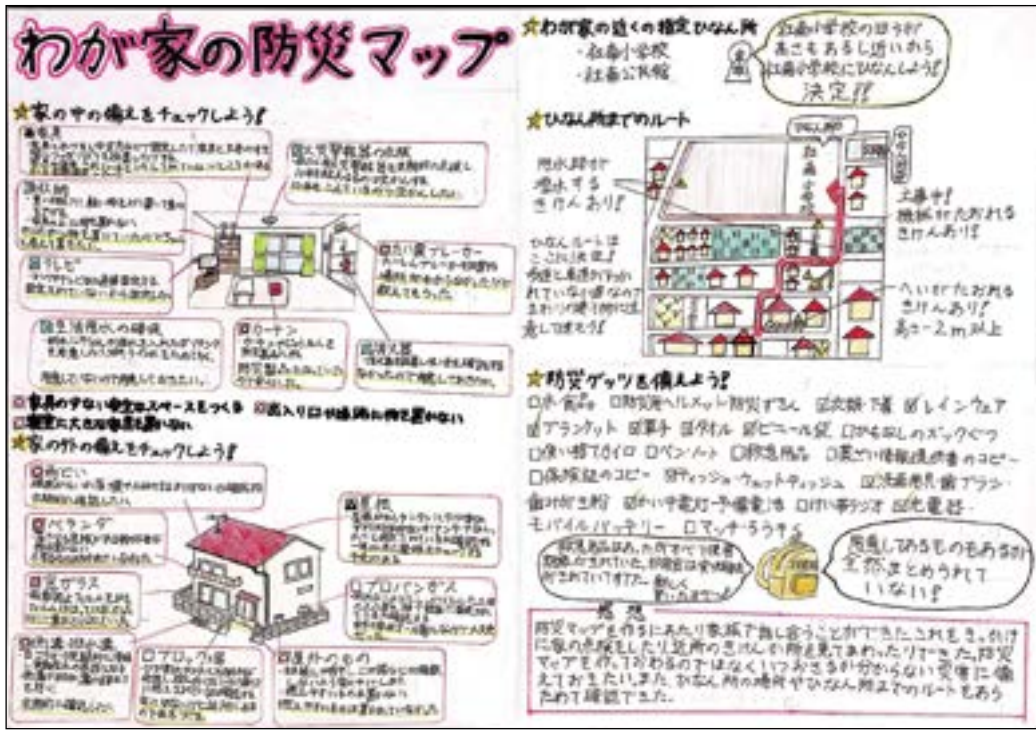
過去の災害や経験を踏まえて避難ルートを作成し、警戒レベルに沿ったマイ・タイムラインもあって、どのタイミングで避難すべきかしっかりと調べてられた良い作品と思います。防災マップから、家族の大切さと近所への声かけなど協力して行動する気持ちが伝わってきました。



福井市社南小学校6年  
澤崎 凜音さん

講評 (審査委員)

災害に備え自分の家について、家族と一緒にしっかりと調べたこと、防災グッズをリストアップし、避難ルートについても危険な所がわかりやすくまとめられており良い作品です。災害への備えの大切さと災害時には慌てず行動できる防災マップが作成できたと思います。



坂井市平章小学校6年  
宮永 理乃さん

講評 (審査委員)

避難ルートでは、平常時と災害時、避難所の写真もありわかりやすかったです。災害時に自宅がどうなるか確認できたこと、警戒レベルに沿った家族の役割をマイ・タイムラインとして作成し、いざという時に家族みんなで協力して避難する気持ちが感じられる良い作品です。





坂井市平章小学校5年

浦出 かけるさん

講評 (審査委員)

イラスト入りのカラフルな防災マップとマイ・タイムラインが分かりやすいです。避難するときに持ち出す荷物についても写真入りで整理されており、実践のときにもチェックしやすいと思います。ご家族で行動や役割分担を事前に決めておくことも大切ですね。



鯖江市立待小学校6年

室田 あいさん

講評 (審査委員)

防災グッズをベットの分まで含めてご家族の状況に合わせ、きめ細かく必要な物をまとめてあります。また、ご家族で、災害が起きたときの行動だけでなく、平常時の普段からのこころがけも事前に決めてあり、とても良いことだと思います。



坂井市平章小学校4年

足立 梓帆さん

講評 (審査委員)

過去に実際に災害を経験した人に当時の話を聞くことは新たな気づきを与えてくれます。防災マップに自宅近くの危険な水路や水が溢れやすい場所が記載されており、警戒レベルに対して自分がすべき行動も整理されているなど必要な情報がまとまっています。



越前市吉野小学校5年

間 美貴さん

講評 (審査委員)

大雨で町内が一部浸水した状況をもとに、命を守る行動についてよくまとめられています。警戒レベルに応じた行動や、避難時の服装が的確に示されています。また、避難ルートの危険ポイントをうまくまとめ、家族みんなで災害時の備えを感じられる作品です。





敦賀市栗野小学校6年  
山内 詩乃さん

**講評**（審査委員）  
近年多発している自然災害を想定して、消火栓や公衆電話・AEDなどの場所が詳細に示された防災マップとなっています。また、家族で避難場所を話し合い、実際に停電時を想定した防災食を作ることで非常時の対策を適切に反映した作品となっています。



福井市東安居小学校3年  
村田 暁さん



福井市西藤島小学校3年  
伊藤 翔さん



敦賀市中央小学校3年  
上野 乃花さん

**講評**（審査委員）  
2024年1月に発生した能登半島地震により、高台へ避難した経験をもとに、避難時までの想定時間や距離・現地の状況を詳細に調べています。避難時の留意事項やベト避難の心得についても触れられており、災害時の現状をよく把握している作品となっています。



福井市社南小学校6年  
小林 蒼空さん



福井市社南小学校6年  
前田 環奈さん



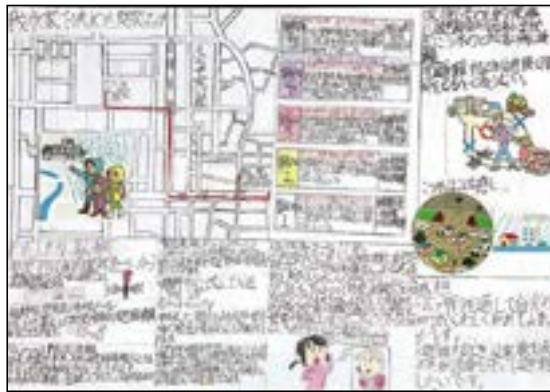
福井市社南小学校6年  
山勢 優奈さん





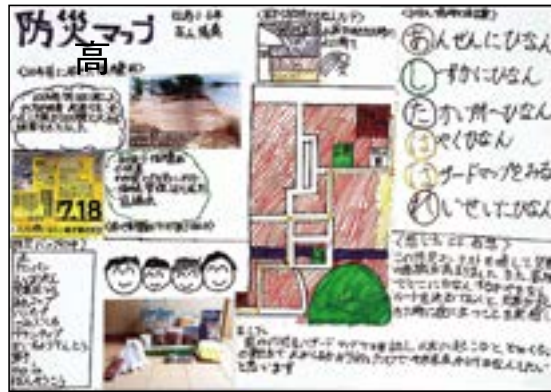
奨励賞

福井市社南小学校6年  
村田 龍斗さん



奨励賞

福井市社南小学校6年  
茶山 陽奏さん



奨励賞

福井市清水西小学校6年  
田中 咲羽さん



奨励賞

勝山市荒土小学校6年  
森石 夏都さん



奨励賞

福井市社南小学校6年  
高村 咲彩さん



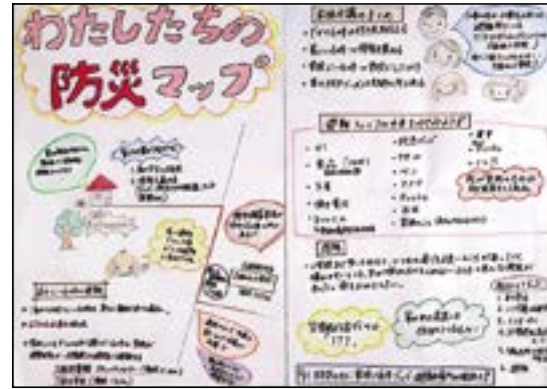
奨励賞

福井市社南小学校6年  
不破 久礼愛さん



奨励賞

坂井市三国北小学校6年  
星野 七海さん



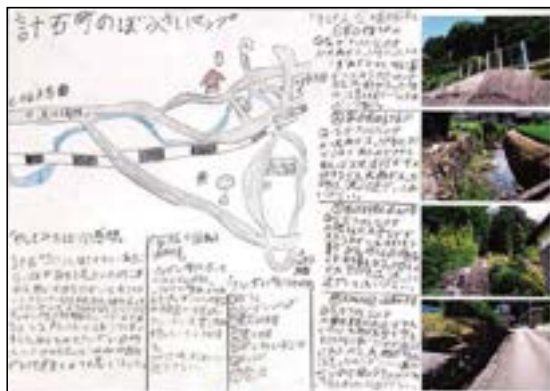
奨励賞

坂井市三国西小学校4年  
今田 百海さん



奨励賞

福井市羽生小学校4年  
宮越 大周さん



奨励賞

福井市羽生小学校3年  
杉本 耀亮さん



奨励賞

坂井市平章小学校6年  
東平 愛梨さん



奨励賞

坂井市平章小学校5年  
江澤 隆翔さん





坂井市平章小学校4年  
山田 結梨奈さん



鯖江市立待小学校5年  
井美 岳大さん



南越前町南条小学校5年  
小谷 和奏さん



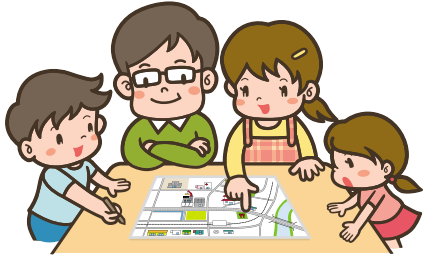
小浜市口名田小学校4年  
森下 苺愛さん



鯖江市立待小学校6年  
武藤 ひなこさん



鯖江市立待小学校6年  
高島 杏奈さん



## 防災出前授業やってます!

国土交通省福井河川国道事務所 ☎0776-35-2661  
福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会は、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作り、ご希望の方に配布しています。

また、国土交通省や福井県では小学校へ出向いての防災出前講座を行っていますので、ご希望があればご相談ください。



鯖江市北中山小学校6年  
川端 千陽さん



越前市武生西小学校5年  
柳生 向日葵さん



主催／ふくいの水防災を考える会（福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町）

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会

特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 損保協会北陸支部福井損保会 協力／ミドリ防災